

能代工場 第一期完成披露式につきまして

中国木材株式会社

2024 年 10 月 11 日、当社国産材工場 6 拠点目となる能代工場（秋田県能代市）の第一期完成披露式を開催いたしました。式典の様子をご紹介します。

1. 挨拶【代表取締役社長 堀川保彦】 能代工場の特徴および今後の計画について

能代工場は、製材・乾燥加工・集成材の製造・バイオマス発電を行い、原木集荷から製品化、また製造過程で発生する副産物も発電施設で活用できる木材コンビナート事業となります。

第一期工事にて、製材工場、乾燥加工、集成材工場が完成し稼働することができました。第二期工事にて、製品倉庫棟、バイオマス発電所を稼働させる予定です。秋田県北部の米代川流域の豊富な森林資源を活用し、杉集成管柱の生産を行います。年間製材量 24 万 m³ を目標に、お客様への供給体制を整えてまいります。

特徴として、今後の労働力不足に対応すべく最新の技術を取り込み、省人化を図っています。最終的には現地採用 200 名を見込み、雇用先として能代市の発展に貢献したいと思います。行政の皆様には秋田の木材産業活性化で恩返しをし、地元同業他社の皆様とは共存共栄を図ってまいり所存です。人工林面積日本一の秋田県の森林資源の価値を高められるよう、努力してまいります。



稼働スケジュール

第一期工事	2024年 1月	製材工場
	5月	乾燥加工工場
	7月	集成材工場
第二期工事	2025年 9月	製品倉庫棟
	2026年	バイオマス発電所

2. ご挨拶【秋田県 佐竹知事】

県では人口減少問題を受け、特に若者や女性の労働環境の受け皿として、成長分野の企業誘致や県と連携した助成制度を運営しているところです。

住宅構造材の販売、プレカット加工、物流、販売、山林経営、木質バイオマス発電など多角的な経営を実践し、木材産業を牽引する業界トップである中国木材が新たに国産材製材工場を能代市に建設される事を受け、秋田県の誘致企業として認定させて頂きました。



中国木材の能代工場進出により、雇用の創出、地域経済の活性化、そして交流人口の増加など、能代市にとどまらず秋田県全域に波及効果が生まれており、今後とも大きな活躍を期待しています。

3. ご挨拶【能代市 齊藤市長】

中国木材を誘致することは能代市の発展にとって素晴らしいことである一方、地元木材業界には大変な影響を及ぼすのではないかと懸念していましたが、地元の木材業界団体のトップから「中国木材の進出は能代市の発展のために必要だ」と言ってもらえ大変嬉しく思いました。こうして素晴らしい工場ができあがり、地元の皆さんも喜んでくださっています。

工場建設時から、県内外から見学者が来ており、市内の経済にも大変な潤いをもたらしてくれ本当にありがとうございます。

今後は、県が整備してくれた能代港を使って製品の出荷や輸出をしてくださると聞いています。私どもも中国木材の期待に応えられるよう努力していきます。



4. 挨拶【取締役会長 堀川智子】

「当社の宮崎県日向工場のような大型国産材工場が全国に 10 拠点できれば日本の山が活性化する」との先代からの思いから、新しい国産材工場の候補地を探しておりました。

その大型国産材工場が実現し機能していくためには、いくつかの条件がございまして、挙げさせていただきますと、①丸太を安定的に長期間入荷できること、②木材コンビナート事業が行える 10 万坪以上の土地の確保ができること、③配送するための港が近くにあること、④近くに電力事業者への送電網があること、⑤工業用水が利用可能であること等があります。いくつかの候補地がありましたが、これらの条件がなかなか揃わない中、最後に候補に挙がった能代が一番初めに決まりました。

必要な条件のうち、足りない事を補うべく齊藤市長、当時の能代商工会議所会頭の広幡様をはじめ多くの方がご尽力してくださり、また地元木材業界団体からの理解も得られたことで、秋田県への工場進出が可能となりました。



工場建設が始まってからも人手不足や働き方改革でスケジュールは綱渡り状態でしたが、工期を間に合わせるため、多くの方のご尽力、ご協力により今日という日を迎えられました。しかし、これで終わりではなく、やっとスタートについたところです。この工場のメイン商品は杉集成管柱です。2×4 も作れるよう設計しています。お客様に喜んでいただけるよう社員一同頑張りますので、末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます。本日は能代工場の第一期完成披露式にご出席いただき、ありがとうございました。

製材工場



ラミナ選別（機械&目視）



節補修ロボット

